

平成 30 年 1 月 15 日付【建設通信新聞】

九州支部<賀詞交歓>  
経営安定で技術継承  
建コン九州ら 5 団体

賀詞交歓

経営安定で技術継承

建コン九州ら 5 団体

建設コンサルタント協会九州支部（福岡宏信支部長）、福岡測量設計コンサルタント協会（横山麻会長）、福岡県地質調査業協会（花村修理事長）、日本補償コンサルタント協会九州支部（萩原敏幸支部長）、全国上下水道コンサ



ルタント協会九州支部（松尾禎泰支部長）の 5 団体共催による 2018 年新年賀詞交歓会が 11 日、福

岡市の ANA クラウンプラザホテル福岡で開催された。来賓、会員企業ら約 300 人が参加した。

5 団体を代表してあいさつした福岡県地質調査業協会の花村理事は、「人手不足と技術の継承は、一つひとつの技術分野を継続的に生かし、企業の経営が安定すれば解消すると確信している。現場の過剰 2 日制や長時間労働の抑制など、企業が直面する課題はあるが、i-Construction の推進に取り組み、着実に進めていきたい」と語った。写真。

来賓の増田博行九州地方整備局長は、「被災地の本格的な復旧・復興に向けて 18 年度から九州北部豪雨出張所を新設し、体制を強化する。18 年熊本地震と合わせて対応していきたい」と抱負を語った。

小川洋福岡県知事は、「17 年九州北部豪雨では、17 年末までにすべての災害査定を終え、今後は本格的な復旧に取り組み。県内各地の生活利便性の向上や農家の下支えの役割を担う社会資本整備では、引き続き協力してほしい」と呼び掛けた。